

# 地域医療連携だより

Vol.261  
R7.3

長浜赤十字病院 地域医療連携課  
〒526-8585 滋賀県長浜市宮前町14-7  
TEL0749-68-3314  
FAX0749-68-3315



地域医療支援病院・救命救急センター  
地域周産期母子医療センター  
災害拠点病院  
災害拠点精神科病院  
滋賀県地域がん診療連携支援病院  
滋賀県基幹原子力災害拠点病院



早春の候、貴院におかれましてはますますご清栄のことと存じます。  
平素より当院の地域連携に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。



## 認知症ケアチームの活動について



認知症看護認定看護師

川上 喜久男

皆さま、こんにちは。突然ですが「2025年問題」をご存じでしょうか。国民の5人に1人が75歳以上の後期高齢者となる超高齢社会に突入し、認知症と診断された方、あるいはその疑いがある方が全国で1000万人を超えると推計されています。医療・介護需要がピークに達するとともに、人材不足の深刻化が懸念されており、地域全体での支援強化が求められています。

湖北圏域の長浜市や米原市でも、すでに高齢化率30%(令和7年1月1日現在)を突破し認知症と診断された方、あるいはその疑いがある方は、およそ1万人以上と推測されます。

当院でも後期高齢者の入院患者の割合は高く、認知症あるいはその疑いのある方は年々増加しています。認知症の症状が進行すると、急なケガや病状の悪化に対する様々な治療や処置への影響や、入院環境に馴染めず、不安や恐怖を伴いやすくせん妄の引き金にもなります。

そのような中、当院では「認知症ケアチーム」が認知機能低下のある患者さんを中心に、できるだけ早く入院生活に適応し、安心して治療や処置が受けられるように支援・調整しています。認知症ケアチームメンバーは、医師や薬剤師、看護師、管理栄養士、社会福祉士の多職種で構成しています。

認知症ケアチームは週に1回、チームメンバーで各病棟を巡回し、現場スタッフを交えてカンファレンスを開催しています。カンファレンスでは、患者さんの苦痛の緩和をはじめ、認知症の行動・心理症状の軽減、せん妄予防や早期離脱のため、様々な観点から話し合いケアの提案や助言を行っています。

カンファレンス開催件数は、令和4年：266件、令和5年：349件と年々増加しています。そして今年度、全国平均を下回る身体拘束率や転倒転落率など、これまでの地道な活動が実を結んだ成果をあげることができました。これからも、現場で質の高いケアを提供でき、患者さんと家族の皆さまが安心して入院生活を送っていただけるよう活動してまいります。



## 全職員対象にBLS研修を実施しています

当院では、院内で傷病者が発生した際の初期対応能力向上を目的として、全職員を対象にBLS(一次救命処置)研修を実施しています。

医師や看護師だけでなく、コメディカルスタッフも含め、患者さんや職員の急変時に安全かつ確実に対応できるよう、必要な知識と技術を学んでいます。研修では「同僚が突然倒れた場合」など、実際の現場を想定したシナリオに沿って実技を行い、迅速な対応が出来るよう訓練しています。

今後も、院内外での救命率向上を目指し、定期的な研修を継続してまいります。



### ご予約に関するお願い

当院は全科完全予約制となっております。

予約なしで来院された場合、当日の診察が難しく、後日の予約をご案内させていただくことがございます。

つきましては、患者さんをご紹介いただく際には、事前に地域医療連携課を通じてご予約をお取りいただきますよう、ご協力のほどお願い申し上げます。

### — 新任医師のお知らせ —

産婦人科 寺井 悠朔 (てらい ゆうさく)

よろしくお祈いします



### ～退職医師のお知らせ～

3月31日付

形成外科

松本 脩佑

糖尿病・内分泌内科

北川 奈津子

整形外科

本城 貴志

糖尿病・内分泌内科

美好 舞

整形外科

緒方 悠元

産婦人科

若園 依未

外科

森 治樹

小児科

池野 貴弘

泌尿器科

吉武 倫太郎

放射線科

日野 篤信

救急科

小島 崇

精神科

柴田 和輝

お世話になりありがとうございました。

